

第11回 日本学生BtoB新聞広告大賞

生き生きと一読者に語りかける

協賛企業賞

支える。想いのすべてを受け止める。
石山 巧朗さん (東京情報クリエイター工学院専門学校)

お米選別脳トレ
酒井 心路さん (秋田公立美術大学)

ずっとあなたと
鮫島 鈴奈さん (鹿児島キャリアデザイン専門学校)



支える。想いのすべてを受け止める。

私たちの仕事や製品は、あまり目立たないところにあるのかもしれない。しかし、その役割はあなたの身の回りを「支える」こと、そのものです。創業以来受け継がれてきた「高品質なエネルギー」を、常に「支えたい」という思いから生まれた「スリーボンド」は、あなたの身の回りのさまざまな製品に採用され、日々の生活を支えています。これからも、確かな技術と想いをもとに、持続可能な社会の実現を目指し、あなたの身の回りを力強く支え続けます。



サタケは0.001秒で見つけられます。
SATAKE

サタケの光選別機は、センサーとカメラを使って産物の色や形、比重を測定し、選別・分類し不良品や異物を圧縮空気によって除去します。お米に限らず豆類や様々な穀類・ペレットも的確に選別でき、工業用・食品用を問わず、あらゆる原料に応用できます。サタケは最新技術を使い、安心安全な製品づくりを支えます。



Mirumio
 okamura

スリーボンド

ポップで親しみやすいデザイン

このたびはスリーボンドの課題に、多くのご応募をいただき誠にありがとうございました。
 当社は工業用シール剤・接着剤のメーカーであり、工業用である故に一般消費者の目に触れる機会が少なく、特に学生からの企業認知度向上が課題となっておりましたが、今回は学生ならではの視点を生かした作品を多数お寄せいただきました。中でも協賛企業賞として選定させていただいた本作品は、日常生活の中で決して目立つ存在ではないものの、人々の暮らしを支える当社の魅力を、独自の視点で分かりやすく表現していただいた点がとても印象的でした。当社創業のきっかけである液状ガasket「スリーボンド1号」を力士に見立てた発想はユニークで、信頼感や力強さが自然と伝わってくるアイデアだと感じました。また、ポップで親しみやすい表現により、若い世代にも興味を持ってもらえる工夫が感じられました。
 以上の理由から、本作品を協賛企業賞として選定させていただきました。今回いただいたアイデアも参考にしながら、今後さらに多くの方に当社の魅力を知っていただけるよう広告宣伝活動を行って参りたいと考えております。
 最後に、本企画にご応募いただきました皆さまと関係者の方々に心から感謝申し上げます。

サタケ

探して分かる選別技術

このたびは「サタケの企業ブランド広告」という課題に、多数のご応募をいただき、誠にありがとうございました。創意工夫に富んだ作品が並ぶ中、学生の皆さんのみずみずしい発想力と社会へのまなざしに、あらためて大きな刺激を受けました。
 サタケは1896年に日本初の動力式精米機を開発して以来、今年で創業130周年を迎えました。現在では「穀物加工と選別」の技術を核に、安全・安心な食を支えています。
 近年は食料供給の不安定化や人手不足、製造現場の自動化・省力化など、食産業を取り巻く課題が一層顕在化しています。
 協賛企業賞の「お米選別脳トレ」は、身近な「脳トレ」という手法を通じて、人の目と機械の認識能力を直感的に比較させ、当社の光選別技術の価値を瞬時に伝える優れた表現です。広告を見る行為そのものを体験に変え、「探してしまろ」構造にした点は新聞広告として非常に完成度が高いと感じました。また、具体的な数値を用いることで、技術力への信頼感を自然に醸成している点も秀逸です。社会課題への関心と企業理解が高い次元で結びついた本作を高く評価しました。
 最後に、ご応募いただいた皆さまと関係者の方々に心より御礼申し上げます。

オカムラ

一緒に長く過ごした時間を感じさせる

オカムラは豊かな発想と確かな品質で、快適に過ごすためのオフィス家具製造や働き方の提案を通して、人が活きる社会の実現を目指しています。
 「mirumio」は、今回の課題テーマであった「子供の発育に寄り添い、一緒に成長する家具」という考えのもと生まれた家具です。年齢や体格、ライフスタイルの変化に合わせて、サイズや使い方を変えて、子どもの「イマ」にぴったりの使い心地を実現。大人になるその日まで、優しく寄り添う相棒です。
 ご応募いただいた作品は、どれも考え抜かれた内容でしたが、その中でも我々の思いを汲み取り、的確に表現していただいた作品「ずっとあなたと」を、協賛企業賞に選定しました。構図のすばらしさに加え、描かれている人物の表情をあえて隠しつつ、「mirumio」とともに過ごした時間と環境の変化も感じさせるビジュアルは、とても完成度の高い作品に仕上がっていると思います。また、これからの未来への希望を見据えるかのような大人側の表現も印象的で、「mirumio」デスクのパターンも見てみたいと思わせてくれる作品でした。
 ご応募いただいた多くの作品においても、学生らしい斬新な発想が随所に見られ、これからの可能性を感じさせる内容でした。皆さんの熱意と創造力に心から感謝申し上げます。

第11回日本学生BtoB新聞広告大賞 受賞者一覧 (敬称略)

■金賞	■銀賞	■銅賞	■審査委員会特別賞	■審査委員会特別賞	■協賛企業賞
作品名: 彼はなぜ、くつろげるのか。 課題企業: スリーボンド 制作者: 菊地 純香 (多摩美術大学大学院)	作品名: あのふたり、最近ではがれたらしい。 課題企業: スリーボンド 制作者: 世古 真鈴 (HAL名古屋)	作品名: アルミ不在の世界 課題企業: UACJ 制作者: 畑中 穂香 (創造社デザイン専門学校)	作品名: 再生医療を未来へ導く 課題企業: シンフォニアテクノロジー 制作者: 鈴木 義基 (創造社デザイン専門学校)	作品名: 君も伸びるの? 課題企業: オカムラ 制作者: 藪下 ゆうか (大阪経済大学)	作品名: ずっとあなたと 課題企業: オカムラ 制作者: 鮫島 鈴奈 (鹿児島キャリアデザイン専門学校)
■協賛企業賞 作品名: お米選別脳トレ 課題企業: サタケ 制作者: 酒井 心路 (秋田公立美術大学)	■協賛企業賞 作品名: 支える。想いのすべてを受け止める。 課題企業: スリーボンド 制作者: 石山 巧朗 (東京情報クリエイター工学院専門学校)	■協賛企業賞 作品名: セルクオリアには隙がない! 課題企業: シンフォニアテクノロジー 制作者: 松永 千穂 (横浜デジタルアーツ専門学校)	■協賛企業賞 作品名: 可能性の交差点、YUASA 課題企業: YUASA (旧ユアサ商事) 制作者: 花田 実季 (創造社デザイン専門学校)	■協賛企業賞 作品名: 僕と、もう一度やり直してくれないか 課題企業: UACJ 制作者: 渡邊 要 (大阪経済大学)	■協賛企業賞 課題企業: 三菱電機 該当作品なし
■奨励賞 作品名: ずっと僕と僕の相棒! 課題企業: オカムラ 制作者: 黒田 和大 (OCA大阪デザイン&テクノロジー専門学校)	■奨励賞 作品名: 学校でも褒められる姿勢に。 課題企業: オカムラ 制作者: 下玉利 星来 (鹿児島キャリアデザイン専門学校)	■奨励賞 作品名: つなぐ。 課題企業: YUASA 制作者: 松本 心菜 (大阪情報ITクリエイター専門学校)	■奨励賞 作品名: 普通って幸せだ。 課題企業: 三菱電機 制作者: 辻 胡々杏 (創造社デザイン専門学校)	■奨励賞 作品名: つなぐ、未来の可能性 課題企業: YUASA 制作者: 山崎 聖也 (HAL東京)	■奨励賞 作品名: 米がある 課題企業: サタケ 制作者: 大久保 森 (東京デザインテクノロジーセンター専門学校)

第11回 日本学生BtoB新聞広告大賞

協賛企業賞

鮮烈なインパクトー時代動かす

僕と、もう一度やり直してくれないか

渡邊 要さん (大阪経済大学)

可能性の交差点、YUASA

花田 実季さん (創造社デザイン専門学校)

セルクオリアには隙がない!

松永 千穂さん (横浜デジタルアート専門学校)

輝くアルミの指輪で、僕は今日、元妻に、二度目のプロポーズをした。アルミニウムは何歳でも再婚、あーいや再婚する。僕ならそんなアルミニウムのように、何回だってやり直せるはずだ。君のアルミニウムになりたいんだ。結婚指輪を交換したいんだ。いやアルミニウムはすごいんだよ。環境負荷の低減にも貢献してるんだぞ。どうして笑ってるんだよ……えっ、指輪、受け取ってくれるのか?

UACJ
Aluminum lightens the world
アルミで世界を軽くする。

人をつなぐ。
企業をつなぐ。
想いをつなぐ。

私たちはこれまで、「つなぐ」の想い、必要とする場所へ届けたい。製品をつなぐ。会社をつなぐ。人と人をつなぐ。そして深く心に残る形で描き出していた作品「可能性の交差点、YUASA」を、このたび協賛企業賞として選出させていただきました。

本作品は、私たちが日々大切にしている「つなぐ」という役割を、誰もがイメージできる「交差点」という形で見事に表現しています。企業ロゴをモチーフにしたスクランブル交差点を描いた圧倒的なビジュアルは、単なる機能としての商社ではなく、人・モノ・情報が混じり合い、そこから新たな価値が生まれる瞬間がまっすぐに伝わってきます。

私たちが「つなぐ」ことで社会の基盤を支え、豊かな、変化に強い未来を実現する。その進むべき道を鮮やかに照らし、確信へと変えてくれる素晴らしい作品でした。心躍るご提案をいただいたことに、あらためて深く御礼申し上げます。

YUASA

SINFONIA

播種 解析 継代 培養 凍結 確認 収穫
モブ 継代 培養 凍結 確認 収穫
PH 継代 培養 凍結 確認 収穫
解析 継代 培養 凍結 確認 収穫
細胞培養装置「CellQualia」

セルクオリアには隙がない!

小さなサイズで自動化オールインワンリアルタイムでモニタリンググレードC*完全閉鎖系細胞培養装置*

CellQualia™
INTELLIGENT CELL PROCESSING SYSTEM

UACJ

アルミニウムに情緒と愛着

このたびはUACJの課題に多くのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

当社はグローバルに事業を展開するアルミニウム総合メーカーです。コーポレートスローガンに「アルミでかなえる軽やかな世界」を掲げ、飲料缶、自動車、IT機器、空調、航空宇宙産業などの幅広い分野にアルミ素材を供給し、人びとの暮らしや産業を支えています。

アルミニウムは近年、環境負荷低減の観点から特に注目を集めています。リサイクルすると、原料から製造する際と比較して、二酸化炭素(CO2)排出量をわずか3%に抑えられます。さらに、何度でもリサイクルすることができます。

協賛企業賞の作品は「何度でもリサイクルできる」アルミニウムの特徴について、「二度目のプロポーズ」と重ねて表現するという、インパクトがあり、かつユニークな作品でした。切り口が斬新で、日頃素材に興味のない一般の生活者も興味を引くような内容です。さらに、懸命な思いを伝えるコピーは、縁の下の力持ちとして裾野広く社会を支えるアルミニウムの実直さにもつながる部分があります。アルミニウムに情緒を持たせ、愛着を感じられるような作品に仕上げてくださり、ありがたく思います。

他の作品も、思いがけない視点のものや熱意を感じられるものばかりでした。ご応募いただいた皆さまに感謝いたします。

YUASA

「つなぐ」を、可能性の交差点に。

このたびは「第11回日本学生BtoB新聞広告大賞」において、YUASAの課題に対し、数多くのご応募をいただき、誠にありがとうございました。まずは、数ある企業の中から当社に興味を持ち、真剣に作品制作に向き合ってくれた学生の皆さまに、社員一同、心より深く感謝を申し上げます。

当社はこのたび、創業360周年という大きな節目を迎えました。この記念すべき年に、私たちの存在意義をスタイリッシュかつ明快に、そして深く心に残る形で描き出していた作品「可能性の交差点、YUASA」を、このたび協賛企業賞として選出させていただきました。

本作品は、私たちが日々大切にしている「つなぐ」という役割を、誰もがイメージできる「交差点」という形で見事に表現しています。企業ロゴをモチーフにしたスクランブル交差点を描いた圧倒的なビジュアルは、単なる機能としての商社ではなく、人・モノ・情報が混じり合い、そこから新たな価値が生まれる瞬間がまっすぐに伝わってきます。

私たちが「つなぐ」ことで社会の基盤を支え、豊かな、変化に強い未来を実現する。その進むべき道を鮮やかに照らし、確信へと変えてくれる素晴らしい作品でした。心躍るご提案をいただいたことに、あらためて深く御礼申し上げます。

シンフォニアテクノロジー

シンプルで伝わりやすい表現

このたびはシンフォニアテクノロジーの課題である自動細胞培養装置「CellQualia」にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

当社は1977年に創業し、半導体搬送装置から宇宙ロケット用の電装品、さらには再生医療に至るまで、独自のモーションコントロールとエナジーコントロール技術で、多彩な分野で活躍する製品を提供しています。その一つである自動細胞培養装置「CellQualia」は、iPS細胞などの自動培養を実現する装置です。これまで熟練の技術者が手作業で行っていた作業を自動化できるため、培養コスト削減や大量生産が可能で、だれもが身近で安価に治療を受けることができる再生医療の発展に貢献しています。

協賛企業賞の「セルクオリアには隙がない!」は、タイポグラフィを活用して、細胞培養に関わる言葉をメインビジュアルに配置いただいたことで、CellQualiaの性能を分かりやすく表現してくださいました。また、人の手を介さない「完全閉鎖系」というCellQualiaの強みを、「隙がない」というシンプルかつ伝わりやすい言葉・デザインで表現いただけており、とても印象的な広告でした。

ご応募いただいた他作品も学生らしい斬新な発想で「CellQualia」を表現いただき、とてもわくわくしながら拝見させていただきました。数多くの素晴らしい作品をご応募いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

日本学生BtoB新聞広告大賞 これまでの受賞者 (所属および企業名は受賞当時のものです)

※金賞・銀賞・銅賞のみ抜粋 ※敬称略

第1回 (2016年)	第2回 (2017年)	第3回 (2018年)	第4回 (2019年)	第5回 (2020年)
金賞 作品名: シンプルに“回転” 課題企業: 日本精工 制作者: 松浦 駿亮/東京芸術大学	金賞 作品名: 取り出す時に思うこと 課題企業: 富士電機 制作者: 岡庭 秀晃/長岡造形大学	金賞 作品名: モニター越しでも、部長は怖かった。 課題企業: パナソニック 制作者: 枝村 智仁/武蔵野美術大学	金賞 作品名: 薄っぺらなヤツじゃございません。 課題企業: NOK 制作者: 佐近 正樹/創造社デザイン専門学校	金賞 作品名: 喜びの雄叫びを上げれるオフィス 課題企業: オカムラ 制作者: 高田 颯平/愛知県立芸術大学 高田 陸央/金沢芸術工芸大学
銀賞 作品名: でも手を繋いだ。 課題企業: 三菱電機 制作者: 三浦 俊大/東京造形大学	銀賞 作品名: まずは、立つ。 課題企業: 岡村製作所 制作者: 乾 佳乃子/創造社デザイン専門学校	銀賞 作品名: 立ち上がりでも悪くない 課題企業: オカムラ 制作者: 安藤 隆徳/創造社デザイン専門学校	銀賞 作品名: どんな出会いがあるのだろう。 課題企業: 島津製作所 制作者: 岡庭 秀晃/長岡造形大学	銀賞 作品名: 私たちはここにいる 課題企業: 日本航空電子工業 制作者: 井上 陽介/創造社デザイン専門学校
銅賞 作品名: 理想を叶える 課題企業: 岡村製作所 制作者: 古田 裕美/専門学校浜松デザインカレッジ	銅賞 作品名: ごはんでありたい。 課題企業: 横河電機 制作者: 小澤 徳人、世安 健吾/明治大学	銅賞 作品名: いつか地球を回したい。 課題企業: 日本精工 制作者: 岡庭 秀晃/長岡造形大学	銅賞 作品名: 座って進む、社会が進む。 課題企業: オカムラ 制作者: 宮崎 ひなた/デジタルハリウッド大学	銅賞 作品名: アルミニウムで日本一。 課題企業: UACJ 制作者: 小山内 美遥/一橋大学
第6回 (2021年)	第7回 (2022年)	第8回 (2023年)	第9回 (2024年)	第10回 (2025年)
金賞 作品名: ※漏れないようにピッタリハマっています。 課題企業: NOK 制作者: 横山 魁/東京都立大学	金賞 作品名: この病院は、顔が効く 課題企業: パナソニック 制作者: 万壽本 光咲/創造社デザイン専門学校	金賞 作品名: 1円にもならない話をしよう。 課題企業: UACJ 制作者: 坂本 真奈花/創造社デザイン専門学校	金賞 作品名: 今は、アルミの時代 課題企業: UACJ 制作者: 川之上 慎/立教大学	金賞 作品名: ノーライス ノーライフ 課題企業: サタケ 制作者: 畑中 穂香/創造社デザイン専門学校
銀賞 作品名: 頼れる相棒へ 課題企業: 住友重機械工業 制作者: 諸江 音美/創造社デザイン専門学校	銀賞 作品名: するいよ、どこでも行けるなんて。 課題企業: オカムラ 制作者: 諸江 音美/創造社デザイン専門学校	銀賞 作品名: 循環過程 課題企業: オカムラ 制作者: 小野 颯大/東京造形大学	銀賞 作品名: どこまで、見えていますか? 課題企業: サタケ 制作者: 青木 星海/武蔵野美術大学	銀賞 作品名: 味方が増えるデスクを手に入れた 課題企業: オカムラ 制作者: 久保 美聖/京都芸術デザイン専門学校
銅賞 作品名: 熟練AIの動で、変えられるシナリオがある。 課題企業: 富士電機 制作者: 後湯 美希/デジタルハリウッド大学	銅賞 作品名: 父のように、頼りがいがある 課題企業: ティ・エス・テック 制作者: 吳 開西/武蔵野美術大学	銅賞 作品名: 9割のアルミ缶 課題企業: UACJ 制作者: 井上 楓/早稲田大学	銅賞 作品名: 八十八の神様 課題企業: サタケ 制作者: 梶野 美幸/創造社デザイン専門学校	銅賞 作品名: アルミ 課題企業: UACJ 制作者: 渡邊 要/大阪経済大学